

「誰か × 誰か」「誰か × 何か」の組み合わせが面白い。

回文 × 芸術

『ひかり埃のきみ 美術と回文』  
福田尚代/著 平凡社

竹やぶ焼けた、私負けましたわ——。回文と聞くと、ジョークや遊びの印象を持つ方が多いのではないのでしょうか。しかし、今回ご紹介する「ひかり埃のきみ 美術と回文」を読めば、その印象はガラッと変わってしまふでしょう。

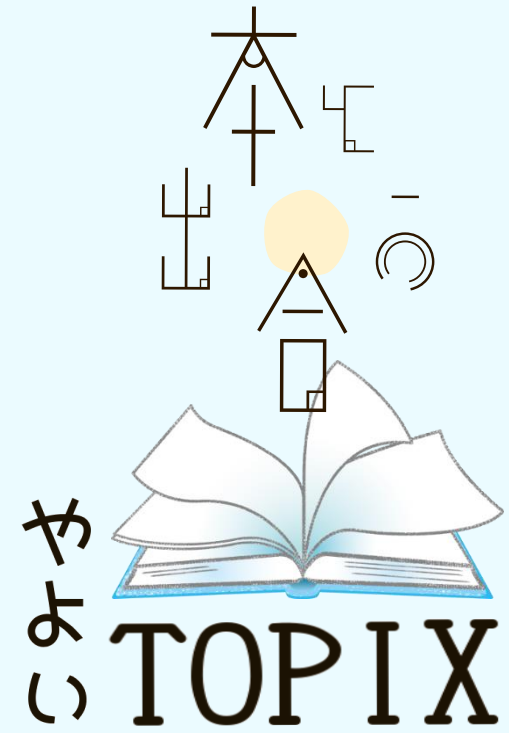
芸術家である著者が綴る回文はまさに一篇の詩のよう！物語性や幻想的な描写に感動していると、回文であることをつい忘れてしまいます。(新井)



館長が紹介する  
「印象に残った一文」とは？



『世界を平和にするためのささやかな提案』  
池澤春菜[他] / 著 河出書房新社



原作本から入ってもよし、映画から入ってもよし。

第35回



原作『ハリー・ポッターと賢者の石』  
J.K.ローリング/作 静山社

映画「ハリー・ポッターと賢者の石」  
ダニエル・ラドクリフ、ルパート・クリント、エマ・ワトソン/出演

今回は「ハリー・ポッターと賢者の石」を紹介します。人気作品なので、いまさら感もありますが……。

両親が亡くなり、親戚の家で生活をするハリー。ある日魔法学校から入学を許可され、個性豊かな生徒や先生に囲まれて、勉強をはじめます。しかし、闇の魔法使いヴォルデモートがハリーを狙っていたのです。

ほうきで空を飛び、シーンや魔法のお菓子など本を読んでいて色々と思像したものを見ることができるようになる。映画のいいところ。また、現在はハリー・ポッターと呪いの子が舞台化、『ファンタスティック・ビーストと魔法使いの旅』が公開中です。このシリーズの面白いところは様々などころに張り巡らされた伏線。原作をもう一度読んでみると、新たな気付きがあるかもしれません。(大塚)

NDCを知って図書館を有効活用！

今回は「4」です。4は自然科学です。数学、物理、科学、生物、医学といったいわゆる理系の本がここに分類されます。難しそうな本が多いと思いきや、きれいな星の本やおもしろい生き物の本もあり、理系は苦手という人も楽しめる本がたくさんあります。医療の本もここにあるので、気になることがあれば4の棚を探してみてください。

おすすめする1冊は『小説フェルマーの最終定理』。数学は苦手という人にも分かりやすく数学の歴史やフェルマーの最終定理について物語の中で描かれています。また、登場人物も魅力的なので、普通の小説としても楽しめる本です。(坂井)



ここでは図書館の本を分類する際に使われる「日本十進分類法」について説明します。NDCとは簡単にいうと、000の10ジャンルの分類方法のことをいいます。

Vol.4



『小説フェルマーの最終定理』  
日沖桜皮/著 PHP 研究所

「平和のためにフマジメになりましょう」



「平和」って何でしょう。世界を平和にするために、私たちに何ができるでしょうか。「そんなこと、一般市民の私たちがいくら考えたって無駄」：そんな風に思っていますか？

実は私もそう思っていました。でも、この本を読んでみて、大切なのは自分で考える事だと気付いたのです。社会の流れ、周りの環境、相手の思い、その他いろいろな物事を見つめ、考える。でも、思いつめてはいけません。あくまで「フマジメ」に考える。そんな小さなことで、少しずつ世界が変わっていくのだと思います。(丸山)

記念日から見つける、とっておきの1冊。

毎年3月27日は桜の日。日本さくらの会が1992(平成4)年に制定しました。日本の歴史や文化、風土と深く関わってきた桜を通して、日本の自然や文化について関心を深めてもらうことを目的としており、日本さくらの会は学校への植樹なども行っています。今回はそんな桜の事を詳しく知る本を紹介します。



こんな本もありますよ

『桜ハウス』  
藤堂志津子/著 集英社

『桜の園・三人姉妹』  
チェーホフ/著 新潮社

クイズにこたえて、  
図書館でプレゼントをもらおう。

もんだい：ひな祭りの日は、いつでしょう？

- ① 3月3日 ② 3月21日 ③ 3月30日

こたえ：\_\_\_\_\_